

区自治協議会提案事業 事業評価書(案)

北区自治協議会

区分	内容
テーマ・事業名	ノーザン ミュージック フェスティバル 2018 【事業費予算 2,500千円】
事業目的・概要	「北区に新たな元気を！」をテーマに、地域や北区文化会館との連携により音楽ライブを開催し、北区から音楽という文化を発信することで、北区エリアの新たな観光や文化の構築と地域のさらなる活性化を図る。
事業の実施実績 (実施回数、参加者数など)	<p>○音楽フェスティバル「ノーザン ミュージック フェスティバル 2018」の開催</p> <ul style="list-style-type: none"> ・日時:平成30年9月30日(日)午前11時～午後7時 ※台風の接近により、当初予定していた屋外イベントを全て中止して開催 ・会場:北区文化会館(ホールステージ及びロビー) ・出演者:斉藤瞳(MC)、ウルフルケイスケ、辛島美登里、Quarry 麺(クオリー麺)、クマガイマコト、ケミカルリアクション、たけやま3.5、マンダムズ、北区少年少女合唱団、木崎三柱会(神楽舞)、TOYOSAKA BigBand、北海道協会練武館 など ・その他:ミニ四駆サーキットブース、飲食ブース(たこかふえ) ・周知方法:イベント公式HP・SNS、イベント情報サイト・雑誌掲載、北区役所だより、北区公式HP・SNS、ポスター掲示約200部(駅、コンビニエンスストアほか)チラシ配布約5,000部(会場近隣世帯、区長と語る会、北区役所など関係各所)クラウドファンディング(新潟日報)、出演アーティストによる情報発信 など ・来場者数:延べ2,487人(うちホールステージは304人)
事業の評価 <small>(地域課題の抽出方法や企画立案の評価 事業の公益性・実効性・効率性の評価 など)</small>	<p>○事業の企画、運営など北区文化会館と連携、地域の関係団体を加えた実行委員会を組織し、意見交換を重ねながら一体となって事業を進めることができた。</p> <p>○当日は台風が接近していたが、学生、子連れ世代、シニア世代まで幅広い年齢層の方が来場した。</p> <p>○イベントをSNSで知った方が多く、区内だけでなく、区外、新潟市外、新潟県外からもたくさんの方が来場した。</p> <p>○アンケート(回答者78人)の結果では、「非常に楽しかった」との回答が71.8%、「まあまあ楽しかった」を合わせると96.2%となり、来場者には概ね楽しんでいただけたものと思われる。</p> <p>○クラウドファンディングの目標額(85万円)を達成し、音楽で北区を盛り上げる機運を高めることができた。</p> <p>○北区文化会館を初めて訪れ、施設に感動された区民の方もおり、同館を知ってもらう機会ともなった。</p> <p>○好きなアーティストだけでなくイベント全てを楽しんでいただく目的で、タイムテーブルを明瞭にしなかったが、タイムテーブルを知りたいとの意見が多くあった。</p> <p>○プロアーティストの演奏を楽しむとともに、北区の少年少女合唱団、ジャズ演奏、郷土芸能、武道など様々なジャンルの様々な音が響く1日となった。 台風の接近により屋外のイベントを中止せざるを得なかったが、前日に中止を決定し、トラブルや事故なく終えることができた。台風や規模縮小の影響もあり、ホールを埋めることはできなかったが、北区文化会館ロビーに急遽設けた屋内ステージなど、多くの来場者を楽しんでいただき、区民だけでなく多くの来場者が音楽で一体となり、北区を大いに盛り上げるイベントとなった。</p>
備考	

区自治協議会提案事業 事業評価書(案)

北区自治協議会

区分	内容
テーマ・事業名	地域防災力向上事業 【事業費予算 1,000千円】
事業目的・概要	地域防災力向上のため、防災リーダーを持続的に育成し技能向上に努め、その活動が行いやすいよう防災装備品の充実を図ります。また、防災イベントを開催し、区民の防災意識の向上を図ります。
事業の実施実績 (実施回数、参加者数など)	<p>○救援物資仕分け・炊き出し(パッククッキング)ワークショップ 期日：平成30年6月17日(日) 午前9時～ 講師：新潟市食生活改善推進委員豊栄支部・NPO法人ふるさと未来創造堂 参加者：31人(コミュニティ協議会関係者、女性消防団ひまわり隊、消費者協会、食生活改善推進委員、北区防災士の会ほか)</p> <p>○「避難所運営ゲームHUG」による避難所現地検討会事前講習 期日：平成30年8月29日(水)・31日(金) 講師：(公社)中越防災安全推進機構 参加者：236人(自治会関係者、防災士、市職員)</p> <p>○「防災士養成講座」 期日：平成30年12月8日(土)・9日(日)の2日間 講師：(公社)中越防災安全推進機構 防災士資格取得者：7人</p> <p>○防災士フォローアップ研修「北区防災士の今後の活動について」 期日：平成30年12月15日(土)、平成31年1月19日(土)、2月22日(金)、3月22日(金) 講師：NPO法人ふるさと未来創造堂 参加者：北区防災士の会防災士</p>
事業の評価 (地域課題の抽出方法や企画立案の評価 事業の公益性・実効性・効率性の評価など)	<p>○かつて経験した大災害の経験や学んだ知識を地域と共有し、安心できる地域づくりへ繋げられるようリーダーの養成等を目的に事業を計画し実施した。</p> <p>○事業を実施するにあたり、地域に協力を求め、地域の防災リーダー、活動に志のある方から養成講座を受講いただくことができた。</p> <p>○今回の防災士養成で、すべての地区に防災士がいることとなった。 将来的には、すべての地区に多数の防災士がおり、防災訓練の企画や指導の中心となっていくことを願う。</p> <p>○フォローアップ研修等で得たノウハウを各地域に持ち帰り、防災訓練等にアウトプットできることを今後期待したい。</p> <p>○次年度からは区企画事業として継続されることとなった。フォローアップ研修等が、防災士の知識や技能の継続保持のためだけに行われるのではなく、各地域での防災活動での課題を持ち寄り、解決の糸口をつかむ場ともなっていくことを望む。</p>
備考	

区自治協議会提案事業 事業評価書(案)

北区自治協議会

区 分	内 容
テーマ・事業名	区民の一体感醸成プロジェクト—みんなの区役所づくり— 【事業費予算 500千円】
事業目的・概要	北区役所新庁舎に整備される交流スペースの活用策等を検討することを目的として、自治協議会福祉教育部会委員を含む、区内で活動する各団体等出身の参加者を集め、ワークショップ検討会を開催するもの。 交流スペースの基本的なレイアウトや、その活用に必要な機能の検討、および同スペース等を活用した、地域間や世代間の交流が深まる活用策等を検討する。
事業の実施実績 (実施回数、参加者数など)	○実施 平成30年12月～平成31年3月 計4回開催 第1回(12月)オリエンテーション 周辺施設見学(豊栄児童センター、北区文化会館) ワークショップ(施設見学の感想共有、ソフト事業アイデア検討) 第2回(1月)ワークショップ(基本レイアウト検討) 第3回(2月)ワークショップ(基本レイアウト検討、ソフト事業アイデア検討) 第4回(3月)ワークショップ(まとめ) ○参加 ・団体推薦委員10名および公募委員1名 ・ファンリテーター2名(新潟医療福祉大学教員)
事業の評価 (地域課題の抽出方法や企画立案の評価 事業の公益性・実効性・効率性の評価など)	○地域課題の抽出方法および企画立案の評価 北区役所新庁舎基本構想(H29.6策定)に挙げられた基本方針のひとつである「区民全体のシンボル、区の一体感の醸成に寄与する庁舎」を、地域課題として捉え抽出。これをもとに、区民参加型のワークショップ形式にて企画された点は評価され得る。 周辺施設見学の感想を共有し、施設との連携と役割分担という二側面から新庁舎に整備される交流スペースの基本レイアウトの検討を行い、物品・設備の配置を含めた区民発の具体案の報告に至ったことは、成果と認められる。 これに派生して、地域間や世代間の交流を意識したソフト事業についても、区民発の意見として提示いただくこともでき、同基本方針の掲げる期待に沿うものであった。 ○公益性・実効性・効率性の評価 整備方針に留まっていた新庁舎の交流機能について、区民発で具体的な活用案が提示された意味において公益性は大きい。 また、竣工後に同スペースを積極的に活用すると見込まれる区内活動団体等を中心に、参加者が一堂に会し議論が行われたため、より実際的な意見が交換されるとともに、参加者個人のみならず、団体レベルでの意志も互いに確認できた。交流スペースの活用イメージについて、各活動団体内部でも具体性をもって検討できる状況になった点は、数値化することは困難であるものの、実効性についても、一定程度認められる。 なお、当該事業は、報償費等最小限の支出により実施が可能であった。この限りにおいて、効率性は確保されたものと考えられる。
備考	

区自治協議会提案事業 事業評価書(案)

北区自治協議会

区分	内容
<p>テーマ・事業名</p>	<p>福島潟の魅力発信事業 【事業費予算 1000千円】</p>
<p>事業目的・概要</p>	<p>福島潟のラムサール条約登録に向け、条約理念等への理解を促すために取り組み、水辺環境の保全と活用に繋げる。</p>
<p>事業の実施実績 (実施回数、参加者数など)</p>	<p>○福島潟と新潟医療福祉大学への視察研修 ・改修工事が進む福島潟と、展示をリニューアルした水の駅「ビュー福島潟」、福祉や健康を専門とする区内大学(新潟医療福祉大学)への視察研修を行った。 研修日時:平成30年5月25日(金)10:00~15:00 視察場所:水の駅「ビュー福島潟」のリニューアル展示、福島潟堤防付近、新潟医療福祉大学キャンパス・学生寮、南浜のウォーキングコース</p> <p>○福島潟に棲む河童のユウタを主人公としたファンタジー『河童のユウタの冒険』(斎藤惇夫著)にちなみ、福島潟の多角的な活用を検討。新潟の潟や妖怪伝説についての講演、子どもたちが潟舟体験を基に描いた河童のイラストの紹介などワークショップが開催され、部会員が参加して意見交換を行った。 ・みずつち座談会「福島潟の“河童のユウタ”に会おう」 (平成30年8月19日 水の駅「ビュー福島潟」) 登壇者:金井田英津子(装幀挿画家)、高橋郁丸(新潟県民俗学会理事) 大熊孝(新潟大学名誉教授・「ビュー福島潟」名誉館長) ※部会員が参加し作品の活用を提案。</p> <p>・シンポジウム「河童のユウタの冒険と福島潟」 (平成30年11月25日 水の駅「ビュー福島潟」) ※パネルディスカッションに参加した若尾部会長が物語の活用について提案 登壇者:斎藤惇夫(『河童のユウタの冒険』著者)、金井田英津子(装幀挿画家)、小川英爾(角田山妙光寺前住職)、高橋郁丸(新潟県民俗学会理事)、大熊孝(新潟大学名誉教授・「ビュー福島潟」名誉館長)、若尾明弘(自然文化部会長)</p> <p>○「ユウタの棲家」の原画及び巨大タペストリーを水の駅「ビュー福島潟」に展示 ・物語に登場する「ユウタの棲家」(金井田英津子画)の原画を額装 ・「ユウタの棲家」の原画を大きくしたタペストリーを制作、6階ホールに設置</p> <p>○ラムサール条約の啓発用パネル、パンフレットを制作 ・環境政策課の協力により、国内のラムサール条約登録湿地や、福島潟の取り組みを紹介するパネルを作成し、水の駅「ビュー福島潟」などで展示した。 ・ラムサール条約やその理念と、登録をめざす福島潟について概説したパンフレットを制作し、配布した。</p>
<p>事業の評価 <small>(地域課題の抽出方法や企画立案の評価 事業の公益性・実効性・効率性の評価など)</small></p>	<p>○北区の自然資産、福島潟のラムサール条約登録に向けた機運醸成のため、水辺環境の保全と活用をうたった条約理念など分かりやすく情報を伝え、理解を深めることができた。</p> <p>○福島潟に棲むとされる河童のファンタジーを活用し、子どもたちにも分かりやすい物語を通じて、福島潟の自然環境の保全と活用の大切さを周知させることができた。</p> <p>○福島潟に棲むとされる「ユウタの棲家」の原画と、原画を拡大したタペストリーを制作し、水の駅「ビュー福島潟」に展示することで、新たな視点から福島潟の魅力を伝えることができた。</p> <p>○福島潟などへの視察研修を通じ、福島潟の治水事業や潟の魅力を理解し、ウォーキングコースの検討等、新たな魅力発信と健康増進につながる方策について、考えることができた。</p>
<p>備考</p>	